



23年度予算総額 **542億5,226万円**を検証

市民の暮らし、産業、子育てに…

一般会計 355億9,100万円
特別会計 186億6,126万円

平成23年第一回定例会が3月8日から22日までの15日間の会期で開かれました。

鈴木市長になって初めての予算組みであり、23年度一般会計予算ほか9つの特別会計、平成22年度各会計補正予算、市条例の一部改正など、36議案が上程されました。11日には東日本大震災が発生し、燕市も震度4の揺れを観測し、その日は散会になるなど、忘れられない定例会になりました。

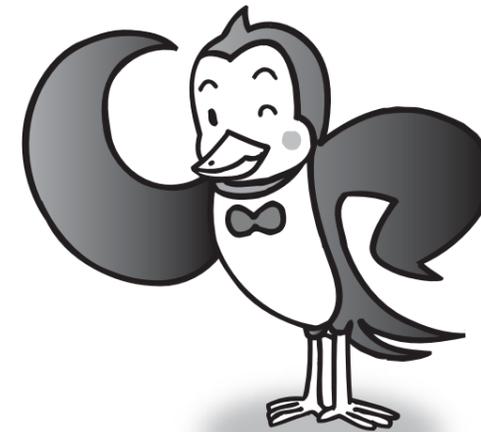
そんな会期中、3日間にわたって予算審査特別委員会を開催しました。予算は、市民の皆さんの生活に直接関係するものです。議会は市民のために堅実な予算編成であるかを十分に審議する必要があります。ここでは当初予算の内訳と審査質疑の一部を紹介します。

Q

「つばめっ子かるた」作成事業にあたり、燕市ゆかりのマンガ家やイラストレーターを起用してはいかがか。

A

今後、編集委員会の委員を決めて、先進事例を参考にしながら細部を検討していきたい。



■平成23年度の全会計当初予算額

一般会計		355億9,100万円
特別会計	国民健康保険	83億6,438万円
	後期高齢者医療	6億1,147万円
	介護保険事業	59億6,859万円
	公共下水道事業	33億9,354万円
	土地取得	2億4,783万円
	住宅団地造成事業	468万円
	企業団地造成事業	117万円
	温泉保養センター	6,960万円
合計		542億5,226万円

Q

産業史料館の印刷製本費が増えている理由は何か。

A

人間国宝となった玉川宣夫さんの作品図録を作成したい。図録は約80ページで120点の作品が収録される予定。

Q

夏まつり交流促進事業の中身は何か。

A

燕・吉田・分水地区の夏まつりで11団体がよさこい踊りをしている。市全体の統一のよさこいをつくり、一緒に踊りたい。予算には作曲と振り付けの委託料が含まれる。



Q

町田市との交流も結構だが、燕市の産業形態を考え、東京の大田区や東大阪市との人材交流や技術交流など、また、災害協定の点からも密な関係が築けないか。

A

相手があることなのだが、今回の災害もふまえて、そういう都市との関係についても今後研究していきたい。

Q

文化センターの駐車場用地購入費が6850万円計上されているが、何台分の増設になるのか。また、現在水はけの悪い場所は改善されるのか。

A

駐車スペースが188台から約275台分になる予定となっている。水はけの悪さも改善していく。

Q

交通対策費として「自転車撤去車借り上げ料」が上がっているが、市にトラックがあるのになぜ借りなければならないのか。

A

大量の廃棄自転車を回収しなければならないために大型トラックが必要だ。費用には回収委託料も含んでいる。



■一般会計当初予算で市民一人当たりに使われる市のお金は428,073円です。(前年度414,917円)

■目的別歳出の額を平成23年4月1日現在の人口(83,142人)で割った額です。

民生費 105,150円 前年度 96,780円 ↑	総務費 42,141円 前年度 26,076円 ↑
商工費 65,543円 前年度 91,005円 ↓	公債費 35,234円 前年度 36,101円 ↓
教育費 56,509円 前年度 40,749円 ↑	消防費 16,730円 前年度 16,434円 ↑
土木費 48,162円 前年度 47,317円 ↑	農林水産業費 10,566円 前年度 9,828円 ↑
衛生費 44,266円 前年度 47,032円 ↓	議会費 / その他 3,772円 前年度 3,595円 ↑